

第68回認定(令和5年8月17日認定分) 地域再生計画の概要

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文
1	北海道	北海道	子育てを社会全体で支える「子ども応援社会」の実現	北海道の全域	14年連続全国で最も魅力的な都道府県1位となっているブランド力を活かし、「北海道に住みたい」と考える若年層・子育て世代のニーズや懸念事項に対応する安心・安定した子育て環境を整備推進することにより、若年層や子育て世代等がもたらす経済圏や子育て環境の不安解消に向けて、地域企業の人材体制整備や地域コミュニティの受け入れ体制形成に向けた支援、地域で身近な相談者の人材育成などに取り組むことで、本道への呼び込みと定着の強化を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
2	北海道	北海道	次世代半導体関連産業の集積を中心とした北海道の成長を牽引する産業づくり	北海道の全域	次世代半導体の製造拠点が北海道に立地することを契機として、イノベーションが期待される技術をもつ国内外の半導体関連企業の誘致活動や北海道の強みを発揮するとともに、将来の人材確保に向けた若者の定住型支援や人材育成などを行い、国内外の研究者や技術者が集う半導体関連産業の拠点形成を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
3	北海道	北海道	北海道未来実装「地方×宇宙ビジネス」加速化事業	北海道の全域	北海道宇宙産業の宇宙分野に止まらない新たなマーケット創出・ニーズ喚起など事業領域の多角化を図るため、幅広い関連産業の育成やスタートアップ企業の創出支援などを実施により、宇宙関連産業をより強固なものとし、北海道経済の底上げ・競争力の強化に資することと「北海道の個性性・独自性を活かして経済・産業が活性化し、いきいきと輝ける社会」を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
4	北海道	北海道留萌市	アウトドアヴィレッジをもい整備による観光拠点形成プロジェクト	北海道留萌市の全域	「道の駅もい」内における広大な敷地を活用し、留萌市又は留萌振興局管内に於けるアウトドア観光を進める拠点施設を整備し、観光イベント誘致と、アウトドア・アクティビティのメニュー開発や情報発信を行うとともに、JR留萌本線廃線跡の橋接した鉄道道の活用を行うなど、「道の駅もい」をアウトドア観光の核として「種く観光」へシフトし、インバウンド需要の取り込み、関係交流人口の増加により若者に魅力ある雇用づくりや、アウトドア人材の集積などの新たな観光ビジネスの創出と、市民に幅広く還元できるまちづくりを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
5	北海道	北海道中富良野町	サテライトキャンパス誘致による地域活性化事業	北海道中富良野町の全域	地域の食料の活用などにより食の価値を高めることは、地域独自の資源を生かしたい観光客への訴求力となり、宿泊業等の付加価値向上になると同時に地域経済への波及効果を増大させることに繋がる。そのため、地域の農産物等の開発等を産学連携により、農業・観光といった分野を横断した政策を進めることで、学術的視点と若年層等学生の視点で町内産業を刷新した料理レシピおよび加工品を継続的に開発する仕組みをつくり、観光客の呼び込みや雇用創出等を推進し、まちを活性化させることを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
6	北海道	北海道苫前町	「ふるさと苫前」の関係人口創出・拡充による地域生産振興プロジェクト	北海道苫前町の全域	町外に転出した後の「ふるさと苫前」に興味・関心を持ち、当町の成長・発展に寄与する取組、活動を行う関係者の育成及び定着等に係る支援を行う。また、地域産品の購入等を通じて本町との関わりが生まれた方々もそれら関係に加わり、「ふるさと苫前」のサポーターとしての活躍の場を提供するとともに、経済産業、福祉政策及び観光政策と連携し、関係人口の増加や関係人口の創出・拡充により関係人口の創出・拡充による地域産品の振興を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
7	北海道	北海道湧別町	eスポーツを通じた活気ある湧別まちづくり事業計画	北海道湧別町の全域	様々な年代や思考、地域と人々を結びつけるジェンダーに囚われないツールとしてeスポーツを活用し、新たな価値観やサービス、産業創出の期待感を醸成し、都市圏の人口や客層を呼び込むことで「若者みんなが夢をかなそう楽しめる湧別町」の創出の実現を目指す。eスポーツを通じて若者の活躍の場や魅力ある教育機会を提供することにより湧別町の魅力を町内外に発信していき、また、高齢者や若者世代との地域交流を増やしていくことで、町民同士がつながる地域コミュニティを形成し、地域の活力と元気に資する町づくりにつなげていく。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
8	北海道	北海道弟子屈町	湯の川がわくわくカルデラの森の温泉街再生事業	北海道弟子屈町の区域の一部(川湯温泉地域)	川湯温泉は、明治時代より湯治場として栄えた歴史ある温泉地である。最近では時代の変化に対応できずホテルの廃業が相次ぎ、商業ホテルが放棄され衰退していった。現在、国定公園整備プロジェクトに当地域が選ばれ、商業ホテルを解体し温泉街再生を進めている。解体と並行して「まちづくりマスタープラン」を策定し、温泉川の改修・シンボリック化、商業施設の再開など施設整備に係るガイドラインの策定、まちづくり組織の創設など、川湯温泉のシンボリック化など、住民が豊かに住み続けられる賑わいのある温泉街の再構築を進める。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
9	青森県	青森県	中国定期路線を活用したインバウンド・アウトバウンド需要拡大事業	青森県の全域	民間事業者と連携した航空路線及び青森県の認知度向上等により、中国から本県への誘客やビジネス面での交流人口の拡大、農林水産物の輸出増加等を図ることで、本県の観光・農業等の産業振興につなげるものである。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
10	宮城県	宮城県石巻市	観て、撮って、いっでも誰でもアートを楽しめる街づくり事業	宮城県石巻市の全域	「いつでも誰でもアートを楽しめる街づくり」をコンセプトに、当市に浸透しつつある現代アートの中にも集客力の高いものとなるシンボルポールの作品の創作に加え、ファミリー層に人気のあるトリックアートなどにアニメキャラクターやAR技術を取り入れたアート作品を市内各所に創作し、子供から大人まで幅広い世代を取り入れる魅力的なアート作品と、企業ははめとしたレガシー且つ一変に遊ばせられる既存の観光資源を組み合わせて創生される「アップデートされた石巻」を武器に、他の自治体との圧倒的な差別化を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
11	宮城県	宮城県多賀城市	多賀城駅北ビル4階コワーキングスペース整備計画	宮城県多賀城市の全域	本市は、人口移動率が高く、市街地圏の狭さから移住による人口の増減が激しく地域の担い手継承を急ぎないため、市外の人材を地域文化の担い手(関係人口)として取込むことが非常に重要である。震災復興のシンボルとして年間120万人が訪れる多賀城駅北ビル4階において、コワーキングスペースの設置を契機として本市を訪れる人を増やし、そのついでに関係人口創出といった波及効果に繋げ、「東北版一の文化交流拠点」として、多賀城市市ならではの「人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域」を作る。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
12	宮城県	宮城県東松島市	東松島市道の駅整備計画	宮城県東松島市の全域	三陸自動車道沿いに道の駅を整備する。道の駅には、農水産物の販売、加工を行う「地域連携販売強化施設」、加工技術の習得、研究を行う「高齢者・女性等地域住民活動・生活支援促進機械施設」、観光情報をはじめとする各種情報を発信する「情報発信施設・トイレ棟」のほか、「多目的広場」「モーターサイクル」「コンビニ施設」を整備する。道の駅を拠点として、地域と連携し、農水産物の販売強化、周遊観光の促進に取り組み、地域産業の活性化及び交流人口の増加を図る。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
13	山形県	山形県寒河江市	緑と花と水辺の公園「次世代子育てアウトドアアスレージョン」再整備事業	山形県寒河江市の全域	2022年の出生数は統計開始以降初めて80万人を割れ、2023年1月～3月の出生数はさらに前年比1.9%減となっている。加速する少子高齢化により老年人口の割合は上がり生産年齢人口の割合は下がっている。人口減少・少子高齢化が進む地帯において、人口減少を遅くする必要がある。移住を促している子育て世代を支援し市へ移住してもらおうと、多数の施策を実施している。「移住者が増えるから活気がある、活気があるから移住者が増える」の好循環を生み出していきたい。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
14	福島県	福島県鮫川村	里山が心を繋ぐ、人と人をつむぐプロモートプロジェクト	福島県鮫川村の全域	住んでみたい、住み続けたいと思える村を実現するためには、共感できる「村で生きる価値」を改めて見出し、「つながりでも、見えにくい、村づくり」を実現するふるさと「価値」を実現することが必要である。多世代世代の交流が新たな村の創造を支えあいを可能とし、村の人も地域外の人にとってもお互いに幸福度が向上することでwin-winの状態にするため、地域の資源や人とのつながりを生かし、過疎中山間地帯ならではの創業・生活方法を発見できる「人と人が結びついた里山を宝とする人たちが集まる村」を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>

第68回認定(令和5年8月17日認定分) 地域再生計画の概要

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文
15	茨城県	茨城県古河市	地域商社設立による市産品の販路拡大及び地域資源の磨き上げ・魅力発信事業	茨城県古河市の全域	「(一財)古河市地域振興公社」に新たに地域商社事業を立ち上げ、地元事業者が販路拡大するための支援(ふるさと納税への参入、観光物産施設での販路拡大)及び本市の魅力を地域資源や商品の発信・付加価値の高い商品開発と地元農業者と協働で展開する。地域商社事業のスタートアップ支援、地域資源の磨き上げ、魅力発信事業を行い、交付対象外事業との相乗効果により、地域経済の活性化、事業者の収益性向上を図るとともに、地域商社事業の経営を自立させる。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
16	茨城県	茨城県笠間市	芸術のまち空間拠点創生プロジェクト	茨城県笠間市の全域	関東最古の伝統的工芸品である空間橋をはじめとした歴史のおよび芸術的資源を活用し、拠点形成と連動した観光都市のリブランディングを図る中で、来訪者の滞在率や滞在性を向上させるコンテナの強化が課題となっており、観光客がある施設や地域の中心となる空間芸術の森公園内の空間芸術の丘を、既存の地域にはない観点である「食×芸術×体験」をテーマとした新たな拠点として再生し、来訪者の旅先と地域経済への好影響をもたらす芸術文化のまち空間のランドマークとする。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
17	茨城県	茨城県稲敷市	霞ヶ浦を望む和田公園におけるサイクリスト・キャンパーと「稲敷ーナガル」交流拠点整備事業	茨城県稲敷市の全域	霞ヶ浦に突き出した和田岬にある風光明媚な「和田公園」は国のナショナルサイクリロードの1つである「つくば霞ヶ浦りんりんロード」上にあり、自然豊かな園内はサイクリング場として穴場的な人気を博しているが、来訪者はキャンプ場とサイクリングコース以外に多くなく、地域への経済効果が薄い。そこで、公園内に地場産品を販売できる店、キャンプ場が広域化するような飲食スペースとなる施設をつくり、さらに、そこで地域情報を発信することで、訪れた観光客へ本市のPRを行い、地域経済の活性化を促進する。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
18	茨城県	茨城県境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～境町ブランドアップ推進事業～	茨城県境町の全域	本町は、観光など地域活性化の取り組みを積極的に進めており、道の駅の売り上げ増など一定の効果を生んでいる。今後も地域の活力を維持していくには、インバウンド等に関する交流人口を増やすため、本町全体の「境町ブランド」の確立や関係施策を推進するための諸施策を実施する。これにより、インバウンドなどの新たな交流人口に選ばれまちづくりを推進することにより、地域の活力を維持していく。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
19	茨城県	茨城県境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～(仮称)「地の魅力ある良」開発拠点整備事業～	茨城県境町の全域	本町では、主要産業である農業事業者における所得向上、取業者の確保を進めるための施設を築き、一定の効果を上げてきた。ウエルビーイング社会、自然と共生を志向させていくため、本町産の産物や野菜等を活用し、園内需要、特に中食の需要やゆくゆくは輸出に特化した新たな「境町の魅力ある良」の研究開発、生産、販売を中心とした取り組みを進める。本町産品の魅力を、農業事業者の所得の更なる向上や地域経済全体的好循環を形成することにつながる。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
20	茨城県	茨城県境町	河岸の街さかい復興プロジェクト～(仮称)食文化を活用したインバウンド等との交流拠点施設整備事業～	茨城県境町の全域	本町では、国庫補給法人である本町まちづくり企業を中心に、「境町の魅力ある良」を活用し、取り組みを積極的に進めており、一定の効果を生んでいる。今後もこの流れを継続していくためには、インバウンドへの対応を行う必要がある。また、長期滞在を誘引するイベントの開催や、滞在性向上、夜間・イベントの開催など、外国人観光客の交流環境を整備する。同時に、担い手となる市民等をサポートし、リーダーを育成することで持続可能性を確保する。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
21	群馬県	群馬県前橋市	交流人口増加のための中心市街地等活用事業	群馬県前橋市の全域	交流人口増加に向け、中心市街地の街並み改修に対するインセンティブを設け、同時にコンテンツの設置による効果的なまちづくりを進める。あわせて、中心市街地の重要シンボルである広瀬川等を活用したコンテンツの開発を進める。また、長期滞在を誘引するイベントの開催や、滞在性向上、夜間・イベントの開催など、外国人観光客の交流環境を整備する。同時に、担い手となる市民等をサポートし、リーダーを育成することで持続可能性を確保する。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
22	神奈川県	神奈川県小田原市	若者が頼る、薫う、にぎわいまちづくり推進計画	神奈川県小田原市の全域	長い歴史や、森・里・川・海がオールインワンとなっている自然環境により生まれた多様な地域資源の価値を、若者が再認識・再発見することで、まちに対する愛着や誇りを感じることができまちづくりを進める。本市が取り組む若者活躍に向けた環境づくりについて、ターゲットとなる若者自身が発信すること、地域に滞在するローカル起業家や、市内事業者と若者がつながることで、小田原の魅力を発信し、自らまちづくりに関わりたい若者、まちで働く若者を増やし、長期的に選ばれまちになることを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
23	石川県	石川県野々市市	小中高大連携による持続可能なインパクトデザインのいち創生事業	石川県野々市市の全域	本市の特徴であるコンパクトな都市であること及び若者が多く住んでいることを活かし、2050年までに創成産業、循環型社会、ウェルビーイング社会、自然と共生社会という持続可能な都市に必要な4つの社会の形成の実現を目指すとともに、本市の様々な魅力を市民一人ひとりの力を合わせて磨いていくことで、市内内外の人々をインパクトを与えるまちを実現し、自分が誇れる市民、文化やファンであることに対するシビリアリティを持つ地域を目指していく。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
24	石川県	石川県中能登町	中能登町共創プロジェクト推進計画	石川県中能登町の全域	当町では、年少人口と生産年齢人口(15～64歳)の減少、高齢化が進み、総人口の減少が避けられないなか、従来人口増加の一方で、就業人口は減少している。しかし、2026年4月開学を進めている、飛騨高山大学(Co-Innovation University(略:COU))のサテライト拠点誘致を機に、「聖山聖海・芸術・観光・伝統産業」を軸に地域とともに創る新しい未来の「共創」をテーマとした共創の学びの拠点として、若者世代を中心とした人の流れをつくり、健全な人口減少対策につなげていきたい。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
25	石川県	石川県穴水町	サテライトオフィス誘致および移住促進を核とした関係人口創出事業	石川県穴水町の全域	本町が目指す将来は、「誰もが活躍できる安定した雇用の創出」と「魅力を生かした新しい人の流れをつくる」ことを実現できる「誰もがチャレンジできる町」である。高齢化と人口減少が加速している本町において、誰もが安心して活躍していくためには、人口減少の抑制と新たな人材の確保が必要である。「数人自衛隊」を軸に、営業人材の確保をかねた「自衛隊」の整備により、新たな人の流れを創出し、過密型の交流人口から「滞在型」へそして「定着型」へシフトさせ地域振興を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
26	福井県	福井県	福井県営体育館の機能強化による利活用交流促進計画	福井県の全域	福井県では、年間2千人程度の輸出超過が続くなど、地域の活力を維持していくことが喫緊の課題である。こうした中、北陸新幹線の福井・敦賀開業(2024年春)など、高速交通ネットワークの整備が進み、本県の地理的な優位性が増し、県民を大きく活躍させる100年に一度のチャンスを迎えている。地域の積極的施設としての役割を果たしている「福井県営体育館」の機能強化を図ることにより、施設の付加価値や自立性をより一層高め、スポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大につなげ、地域経済の持続的な成長を促進させる。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
27	山梨県	山梨県中央市	シルクの星一帯を活用した「しんあるまち」活性化プロジェクト	山梨県中央市の全域	本市は、山梨県のほぼ中央に位置し、「JR身延線、新山梨環境遊園地」が市内を縦横断し、中央自動車道インターチェンジにも近接していることから交通の要衝となっている。一方、少子高齢化や生産年齢人口の流出による社会減、後継者不足による農業・加工業の廃止という地域課題も顕在化しつつあり、中央市まちづくり、ひと・こと・暮らしを各分野で進める。将来を担う人材の確保に積極的に取り組んでいるところではあるが、その実現に向けさらに取り組みを充実させていく必要がある。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
28	長野県	長野県佐久郡	千曲川上流域の磨き上げと人づくりによる産業×環境×教育の魅力ある地域づくりプロジェクト	長野県佐久郡の全域	課題解決に向け、林業6次産業化を行う地域商社の設立・運営実績がある企業と、地域の事業者等とともに地域商社設立を目指す。「森林資源の活用、南佐久郡の林業6次産業化の機能整備」「千曲川流域・森林フィールドにおける人づくりに関する事業」や地域の事業者等と連携した地域活性化の取り組みを推進し、調整を行い、結果に基づいた実施設計を行い、交付金事業期間内に地域商社を設立する。設立後は、事業収入等により収益と雇用を生みながら持続的に活動することを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>

第68回認定(令和5年8月17日認定分) 地域再生計画の概要

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文
29	長野県	長野県松川町	アフターコロナ及びリニア開通後の観光交流・移住定住人口増を促進させることを目的とした地方創生計画	長野県下伊那郡松川町の全域	当該地域はリニア新幹線開通により長野県駅(仮称)が設置されるため、交通利便性の劇的な向上により、都市部との交流人口増が想定される。アフターコロナに対応しつつ、地域資源を最大限活用した観光まちづくりを行うことで、新たな観光交流の自立自給となり、様々な民間事業者が参入しやすくなることによる。日本国産の両国まつまわ観光まちづくりセンターと取り組むことで関係人口の創出と移住定住者の増という地方創生の実現を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
30	岐阜県	岐阜県多治見市	遊働の時代を突破する中小企業のチャレンジ支援と地域経済の活性化	岐阜県多治見市の全域	コロナ禍の影響から脱却し、市内企業のチャレンジや変革を、関係機関と連携して伴走型で支援を行う。多治見の地域経済の強化を行い、域内経済環境を向上させ、雇用を創出することで、人口流出に歯止めをかける。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
31	岐阜県	岐阜県山県市	自給産で出かけたくなるまちづくり計画 ~「カーボン・マイナス・シティ」宣言をした山県市におけるサステイナブル・サイクルツーリズム推進事業~	岐阜県山県市の全域	山県市が有する、歴史や自然環境などのポテンシャルや新たに生み出す地域の魅力を生かし、webサイトやSNSなどのデジタル技術も活用した自転車だけで出かけたくなるまちづくりや観光を進めることで、山県市が宣言したカーボン・マイナス・シティの推進や、サステイナブルな観光の推進により交流人口を拡大し、経済的な地域活性化を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
32	静岡県	静岡県	パーチャル・シズオカ推進計画	静岡県の全域	電子基準点と点群データを活用した高精度デジタルツインを構築し、本県の真部・伊豆半島地域等をモデルエリアに、「確度保全」の分野において、官民連携でドローンやラジコンヘリによる野生鳥獣の生息域把握や捕獲鳥獣の選別等の先進的モデル事業を展開し、産業の生産性向上と活性化を図る。また、最新の技術やサービスを検証する機会やフィールドを確保することで、企業のネットワーク構築や、技術力向上、交流による人材育成を図り、地域課題の解決を目指すとともに地方創生の基盤となる「安全・安心」の強化に取り組む。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
33	静岡県	静岡県藤枝市	せとや陶芸村 宿泊・滞在拠点整備事業	静岡県藤枝市の全域	少子高齢化が進み農林業の低迷が顕著な本市の中山間地域には、コト消費の拡大を目指すための中山間活性化施設があるが、宿泊施設不足から日帰り消費が、回遊性が乏しく利用者数も低迷している。市民牧場の閉鎖後、積極的な利活用が図られなかった「くまふれが丘広場」を、民間活用に供し、観光村居館等と連携した、宿泊機能を有し新しい体験型観光交流拠点として整備し、観光交流人口の増加とコト消費の拡大、そして地域に新たな雇用を創出することで、若者が定着する持続可能な中山間地域を形成し、地方創生を実現する。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
34	静岡県	静岡県藤枝市	旧東海道日本遺産・茶文化発信拠点整備事業	静岡県藤枝市の全域	本市が持つ「日本遺産」ブランドと、「茶文化」の活用と融合により、藤枝ならではの新たな魅力を創出し、観光客の誘客や回遊の促進を図るとともに、海外においてお茶の高いブランド力や有する民間事業者との連携により、海外の富裕層などのターゲットに向けた観光力の高い情報発信を行い、本県と世界の文化ツーリズムを繋ぐゲートウェイとなる新拠点を構築、世界に向けた新たな観光交流の創出と、地域ブランドの確立により、アフターコロナの地域経済の活性化をリードする先駆的で持続可能な観光まちづくりの実現を目指す。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
35	静岡県	静岡県袋井市	“ふくろい飯”共創のまちづくり推進事業 ~地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦~	静岡県袋井市の全域	2040年問題と言われる社会構造の大きな変化を見据えつつ、足元で進む地域の人口減少や高齢化、担い手世代の転出に対応した新たなまちの経営戦略として、袋井市の持続的発展を望む市民事業者の自己実現を支援し、希望を築くことにより、この地域で生きていくことの満足度を高めていく。共創の創出・拡大と公共サービスへの共創の推進と併せて、消費者たる市民主体に主体的に働き込んで、より充実した暮らしを提供していただくための制約緩和と適切な両面展開として、官民共創のまちづくりの域内内実装に挑戦。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
36	愛知県	愛知県	あいちの農山漁村で育まれた地域資源である伝統野菜を活かした地域活力創出プロジェクト	愛知県の全域	本事業では、伝統野菜の認知度向上と販路拡大、担い手確保、技術習得を進めることにより、地域資源の伝統野菜をブランディングし高付加価値化するとともに、生産者、消費者及び流通業が互いの価値観の魅力を再発見することにより、担い手が将来にわたって意欲的に農業に取り組める環境を創り上げ、新たな価値を生み出し続ける産業へと発展させ、持続可能なまちづくりを創出する。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
37	愛知県	愛知県半田市	農業起点の地域プラットフォーム創出による交流活性化事業	愛知県半田市の全域	本市では耕作放棄地の増加や農業者の高齢化が進行しており、農業分野の衰退が懸念される。こうした問題の解決に向けて、本計画では、農業マルチシユの開催や地域プラットフォームの構築等の取組を段階的に実施することにより、農家間ネットワークの形成や生産者と生産者とのつながり強化を図る。これらを二次産業化の推進や地産と連携によるイノベーションの創出に発展させていくことにより、農家及び農産物の価値向上や持続可能な農業の形成、農業の地域資源化を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
38	愛知県	愛知県豊山町	SDG 6 人材育成プロジェクト	愛知県西春日井郡豊山町の全域	SDG 6 人材育成プロジェクトとして、住民、企業、行政が一丸となり、SDG 6の理念を大切にする人材を育成する。この取組を契機として、地域に実装する。本プロジェクトをきっかけに、子どもたちや若い世代を軸とした住民が、①SDG 6の理念を理解しつつ、②まちづくりを自分ごととして捉え、主体的にまちづくりに参加し地域課題を解決することで、③地元への愛着を持ち、「住みたいまち、住み続けたいまち」づくりを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
39	愛知県	愛知県南知多町	師崎港観光センター周辺整備運営事業	愛知県南知多町の全域	師崎港観光センターは、老朽化が著しく、施設内外の商業施設も撤退が続いており、観光拠点としての機能が低下している。さらに、繁忙期には、駐車場不足による渋滞発生や混雑から、駐車できない観光客が来訪を諦め帰ってしまう等の機会損失や、住民や地域住民の生活にも支障をきたしている状況である。本計画は、町の新設観光拠点を再整備すると同時に、町の負担軽減及び渋滞解消、地域住民と観光客の利便性向上を目指すことを目的に「手法を用い、民間の能力を積極的に活用することで、効率的な施設整備を行うものである。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
40	滋賀県	滋賀県甲賀市	道の駅あいの土山整備事業	滋賀県甲賀市の全域	市は、県下一の茶生産量の産地であり、「甲賀の茶」の生産強化に向けて、ブランド化に取り組んでいる。道の駅「あいの土山」のリニューアルを行い、利用者の利便性を向上させ、市街の茶葉をはじめとした農産物や畜産物の持つ魅力を発信していくことで、市内はもちろん、近隣市からの集客や交流人口の拡大を目指す。交流人口拡大によって、農産物の販売が増加することによる農家の所得向上、農家の担い手として新規就業者の拡大、農協連帯の促進、6次産業の促進、高齢者の活躍の場の創出、多様な地域雇用の創出につなげる。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
41	大阪府	大阪府河内長野市	デジタル技術を活用した多様なコミュニティ創出による地域活性化事業推進計画	大阪府河内長野市の全域	急激な人口減少と人口構成の不均衡による、地域コミュニティや地域活動の急速な縮小を抑え、地域活性化を図るため、「デジタル技術を活用した新たなコミュニティの創出」、「主体的な地域活動への参加を促すシンクブライト(市民と「のり」)の創出」、「多様な主体による協働のまち」(市民の本町)に對する誘いや愛着が高まり、様々な場において溢れるまち」を目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
42	大阪府	大阪府大東市	観光振興と地域産業・経済の活性化による関係人口・定住人口の創出・拡大事業	大阪府大東市の全域	観光資源のアウトリーチ型・広域的発信を行うことで大東を「知ってもらい」、環境整備やデジタルを活用した魅力コンテンツの充実を図ることによって「訪れたい人を増やし」、独自の魅力ある商品開発や商品とタイアップした観光施設を展開することにより「消費活動する人を増やす」ことで地域経済を活性化させる。これらにより、大東の新たな魅力や付加価値、産業の層厚化、まちの担い手が創出され、ひいては交流人口・関係人口の増加につながることを目指す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>

第68回認定(令和5年8月17日認定分) 地域再生計画の概要

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文
43	奈良県	奈良県宇陀市	帯有施設を活用した最先端デジタル教育によるまちの賑わいづくり	奈良県宇陀市の全域	市の公共施設である複合センターをデジタル化に対応した「いつでも、誰でも学ぶべき公共施設」に改修し、全世帯に最先端デジタル教育に関する機会を提供することで、デジタル化への興味を醸成させ、デジタル人材の育成や公共施設の利用を高めることにつなげる。また、近鉄線駅の徒歩圏内に位置する当施設の利用を高めることにつなげる。また、近鉄線駅の徒歩圏内に位置する当施設を主として、駅前商店街を含めた駅前周辺地域の空きビル等にデジタル教育を推進する企業を誘致することで、市内の活性化を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
44	奈良県	奈良県三郷町	木育推進型インクルーシブ拠点計画	奈良県三郷町の全域	本計画は、「インクルーシブ・スマートシティさんごう」という将来像の実現のため、誰にとっても住みやすい、訪問しやすいまちづくりを行い、新しい人の流れを生み、まちの活性化、発展を図るもので、三郷町内にある大学が移転されたことに伴い、都市の空洞化や交流人口の減少、地域経済の衰退が課題となるなか、木育をテーマとしたインクルーシブ拠点の整備を行う。本施設は、文芸体験型ミュージアムやライブラリーカフェ等、木と触れ合いながら木育について学べるよう整備し、関西圏を中心とした広域からの集客を図るものである。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
45	鳥取県	鳥取県松江市	人が集う松江の新たな日常を生み出すプロジェクト「旧日鏡松江工房整備事業」	鳥取県松江市の全域	松江市には、豊かな歴史・文化と自然環境に囲まれた国際文化観光都市として誇れるものが多くある。これらの観光資源に磨きをかけて魅力を高めるべく、伝統的・芸術文化財の「旧日鏡松江工房」を整備する。本施設を地域産品・工芸品の販売、地元食材を使ったことしでかきべられぬ料理、歴史文化・伝統作業の体験観光などとする施設としてリノベーションすることで、観光消費額の向上・市内産業性の向上、インバウンド観光客の誘致を図り、持続可能な観光産業界への発展を目指す。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
46	広島県	広島県坂町	「小畑浦地区」活性化プロジェクト	広島県坂町の区域の一部(小畑浦地区)	坂町にある小畑浦地区の人口は、最も多かった昭和30年代の約5,000人から現在は、約1,500人となっており、人口減少が加速化している。平成28年度から人口減少対策に取り組んでいるが、商業・医療などの日常生活に欠かせない機能が地区内に限られておらず、人口減少に歯止めをかけることができていない。そこで、日常生活に欠かせない機能を果たす事業者を誘致し、移住・定住者、子育て世代などの新しい人の流れを小畑浦地区につくらすととも小畑浦地区に関わる人口を増やし、小畑浦地区に賑わいを創出する。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
47	広島県	広島県北広島町	目的観光地としての食(白米)魅力発信計画	広島県北広島町の全域	「交流人口増」のために「町内外に向けた情報発信・情報共有」を主軸として取り組む。まずはターゲットや情報発信量および質、観光客の属性、興味の対象などの分析を行い、「実際に観て評価が高いコンテンツである」北広島に実際に来て北広島のみで食べて食べた「北広島産米」を推進する戦略を実施する。そこで、観光客の大半を占めるファミリー層で価値観の多様な家族を、子育て世代をターゲットとして体系的に整備して関係機関と連携して効果的に運用することで、本町農業が抱える課題解決と地域経済活性化、住民の利便性向上に寄与するものである。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
48	福岡県	福岡県北九州市	「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援計画	福岡県北九州市の全域	「人への投資」をはじめ、DX関連の設備投資等、市内中小企業の投資加速化を支援するため、①社内人材育成のための、雇用型研修型向上スクール、②大学生等外部人材の知見を活用するインターンシップ事業・大学との連携、③個別の企業ニーズに沿った投資促進支援事業を実施する。これにより、市内企業のDXを加速させ、企業の生産性向上及びデジタル人材の育成・確保につなげていき、企業の競争力向上を図る。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
49	佐賀県	佐賀県上峰町	道の駅「かみみね 為朝市場(仮称)」地域振興施設整備事業	佐賀県上峰町の全域	上峰町の基幹産業である農業においては、後継者や担い手不足が深刻化しており、農業生産力の低下や生産農家の増加などの問題が生じている。地域振興施設「道の駅」を整備することで、販路の確保と拡大を促進するとともに、6次産業化など付加価値の高い商品の創出を推進し、これらを施設と取組を農業振興のプラットフォームとして一体的に整備して関係機関と連携して効果的に運用することで、本町農業が抱える課題解決と地域経済活性化、住民の利便性向上に寄与するものである。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
50	熊本県	熊本県八代市	八代の種かるアサリ漁業のV字回復計画	熊本県八代市の全域	本市の主要水産物であるアサリは、漁獲量激減により、漁業従業者が減少し、後継者不足が著しく、持続可能な水産物の維持が厳しい状況となり、従来の経験や知に頼った漁業や販売体制の刷新が必要である。そこで、アサリを「漁業収益の向上」、「漁獲量の拡大」の2つの視点において、デジタル技術を活用することで、収益安定化及び後継者不足の解消を図る。また、アサリの観光漁業等を取り入れ、観光客を含め幅広い層の関心を集め、持続可能な地域社会の構築に向けた定住人口や関係人口の拡大にも貢献する。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
51	大分県	大分県	働くに誇りをもった大分県移住定住促進計画	大分県の全域	大分県では若年者が県外に流出しているが、若年者の移住・定住には地方での仕事が増える。そのような中、転職定住移住に注目が集まっている。転職定住移住はITスキルを有した若年層や子育て層が中心であるため、大分県の移住施策のターゲットと一致する。そこで、転職定住移住を促進する施策を展開することで、ITスキルを持つ若年層の移住を促し、副業等の仕組みを活用することで人手不足に悩む産業界でのIT人材の有効活用を図る。また、仕事を求む人には伴走支援によるキャリアサポートにより地方への移住を加速させる。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
52	宮崎県	宮崎県延岡市	市民の行動変容を促す新時代ヘルスケープ推進計画	宮崎県延岡市の全域	延岡市は、毎年600人前後の人口の社会減が続いていることなどにより、地域コミュニティや地域経済の衰退が懸念されている。この課題解決のため、健康増進・心身・体感心層も巻き込み、社会参加や健康づくり活動を増加させて地域コミュニティを活性化(ソーシャルキャピタルを向上)させ、インセンティブを活用して地域の消費活動を活性化させる。また、AIの活用によって疾病のリスクを個人に通知し、行動変容を促す。健康寿命の延伸や社会参加の促進など市民のウェルビーイングを高めることで、人口減少の抑制をめざす。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>
53	その他	富山県、石川県、福井県	関西圏情報発信拠点整備推進事業	富山県、石川県、福井県の全域	関西圏における北陸地方の観光魅力の発信・情報提供の強化、観光客のニーズに合わせたサービスの提供、そして関西圏からの観光客の訪問促進と観光消費額の増加を図るために関西圏に北陸三県と連携し、情報発信拠点を設置する。	地方創生拠点整備タイプ	<a href="#">計画本文</a>
54	その他	愛媛県西条市、愛媛県久高町、高知県の町、高知県大川村	デジタルプラットフォーム構築によるライフスタイル型地域観光・滞在スタイル創出事業	愛媛県西条市、愛媛県久高町、高知県の町、高知県大川村の全域	大都市圏に住む「Z世代/デジタルネイティブ世代」とよばれる若い人々をメインターゲットに、いしづりエリアでいきいきと活躍する住民の生き方、暮らし方を提案するライフスタイル型地域観光・滞在スタイルの創出に取り組む。地域で活躍する人材をキャストと見立て、彼らの生き方を軸として高付加価値体験型交流プログラムを来訪者に提供するとともに、デジタル技術を用いた顧客サポートで体験価値を向上させ、キャストをフックに地域への愛着や反復継続した来訪を促す。	地方創生推進タイプ	<a href="#">計画本文</a>